

主催：立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会

共催：ジェンダー法学会関西支部

後援：科研基盤研究 B (代表：秋林こずえ)「バックラッシュ時代の平和構築とジェンダー」

2010 年度 第 2 回ジェンダー研究会

The Symbolic and Communicative Function of International Criminal Tribunals

—Sexual Violence in War and Ethnic Conflict—

国際刑事裁判所における象徴機能・伝達機能

—戦時及び民族紛争における性暴力—

場所：立命館大学朱雀キャンパス 2 階 204 号教室
(JR二条駅ないし地下鉄東西線・二条駅より徒歩 5 分)

日時：2010 年 7 月 15 日(木曜) 18:00～20:00

参加費無料・事前申込不要

※報告は英語で行われます(通訳なし)

報告者：テレサ・ゴッドウィン・フェルプス教授

(アメリカン大学ロースクール Washington College of Law 教授、
立命館大学法科大学院客員教授)

Prof. Teresa Godwin Phelps プロフィール：

Legal Rhetoric 論専門 / Yale Law School, University of Notre Dame 修了 /

博士(英語学) / 著書: Shattered Voices: Language, Violence, and the Work of Truth

Commissions (U. Pa. Press 2004) など

司 会：池内靖子 (立命館大学産業社会学部教授)

コーディネータ：松本克美 (立命館大学法科大学院教授)

連絡先：立命館大学国際言語文化研究所
TEL: 075-465-8164 / FAX: 075-465-8245
E-mail: genbun@st.ritsumeai.ac.jp

